

哲學研究

第三十九卷 第十冊

第四百五十六號

昭和三十三年十月一日發行

彙報

近代美術におけるアトム化……………	マックス・ピカート
佐野利勝 譯	
ヘーゲルの人間學の性格（下）……………	船山信一
——體系におけるその地位——	
「墨子」兼愛說に對する倫理學的考察……………	保田清
ブルーノの死（完）……………	清水純一

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委囑する
- 一、本會に賛助員若干名をおく
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年一、二二〇圓(會誌十二冊分を含む)を前納する
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎
 池田義祐
 石田勉
 井野島
 上野照夫
 白井二尚
 柿崎祐一
 酒井俊修
 重澤芳郎
 島原太夫郎
 園原三郎
 高田三郎
 武内義範
 田中美知太郎
 長谷雅人
 西谷啓治
 野田又夫
 蓮實重康
 松尾義海
 武藤一良
 本吉良治

京都哲學會公開講演會

日時 十一月十五日(土) 午後一時半
會場 京都大學文學部第一教室

自然との合致

——ストアの自然と自由——

……………大阪市立大學教授 鹿野治助

靈魂觀念について……………龍谷大學教授 棚瀬襄爾

☆右終了後樂友會館にて懇談晚餐會を開きます。多數御參會下さい。(會費約五〇〇圓)
☆所屬機關長宛出張許可依頼狀御入用の方は京大文學部哲學研究室まで御申出下さい。

受贈圖書

- 1 Mandelbaum, M. & others ed.: *Philosophic Problems.*
(1957, New York, MacMillan.)
- 2 朝永先生の思ひ出(玉川大學内朝永先生の思ひ出編輯會)
- 3 Nagel, E.: *Logic without Metaphysics.* (1956, The Free Press.)
- 4 University of California: *Publications in Philosophy.* vol. 29 (1957, University of California Pr.)
- 5 Runes, D. D.: *A Book of Contemplations.*
(1957, New York, Philosophical Library.)
- 6 Peirce, C. S.: *Values in a Universe of Chance.*
(1958, Garden City, N. Y., Doubleday.)
- 7 Blanshard, B.: *The Impasse in Ethics and a Way Out.*
(1957, University of California Pr.)
- 8 Birro, C.: *The Ways of Enjoyment.* (1957, Exposition Pr.)
- 9 Heath, S.: *Citadel, Market and Altar*
(1957, ElkrIDGE, Science of Soc. Foundation Inc.)
- 10 Martin, G.: *Einleitung in die allgemeine Metaphysik.*
(1957, Köhler Universitätsverlag.)
- 11 Seonske, A.: *Value and Obligation.*
(1957, University of California Pr.)
- 12 Wolff, H.: *Plato, der Kampf ums Sein.*
(1957, University of California Pr.)

前 號 目 次

- 人間存在と超越……………三宅剛一
 シェリング神學思想の……………エルンスト・ベント
 父祖たち
 ヘーゲルの……………船山信一
 人間學の性格(上)……………
 —體系におけるその地位—
 ブルーノの死……………清水純一
 彙報

次 號 論 文 豫 告

- 形はなぜ在るか……………植田壽藏
 サンキヤ哲學……………松尾義海
 における認識論……………
 ドイツ觀念論の歴史……………エルンスト・ベント
 哲學における終末論……………蘆谷 鏡譯
 アベラールの普遍論……………横山哲夫

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けませんが、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、二二〇圓又は半年六一〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番創文社）宛に願ひます
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、（一年分又は半年分）
會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十三年九月二十五日印刷
昭和三十三年十月 一 日發行

編集人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編集代表

酒 井 井 修

發行人

久 保 井 理 津 男

印刷人

堀 内 文 治 郎

印刷所

堀 内 印 刷 所
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 ノ 一 六

發行所

株式會社

創 文 社
東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 九 ノ 内 (23) 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價二二〇圓、送料・八圓）前金にてお送り下さい

昭和三十三年九月二十五日印刷
（毎月一回）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXIX

October 1, 1958

No. 10

Die Atomisierung in der modernen KunstMax Picard

Der Charakter der Hegelschen Anthropologie (II)
.....Shin-ichi Funayama

*An Ethical Consideration of the "chien ai" Doctrine
of the "Mo-tzû"*Kiyoshi Yasuda

On the Death of Bruno (II)Jun-ichi Shimizu

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價
一三〇圓

IBM 6427